

## ～つがる西北五広域連合から～

### 自治体病院機能再編成の進捗状況と

#### 今後の見通しについて

つがる西北五広域連合（五所川原市、つがる市、鯉ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町で構成）では、新たな地域医療体制の構築を目指し、自治体病院機能再編成に取り組んでいます。

このたび中核病院の建設用地が決定し、本格的なスタートとなりました。自治体病院機能再編成のこれからの進め方を中心にご説明したいと思います。

#### これまでの経緯

医師不足と経営悪化を背景に、自治体病院のあり方を巡る議論が全国的に高まり、青森県でも医療圏ごとに医療提供体制の見直しを図る取り組みが進められてきました。

その中で、西北五圏域は最も早く平成12年度から具体的な検討を始め、平成14年12月には県が主導して機能再編成計画がまとめられました。平成18年2月には、県主導の計画を一部見直した「自治体病院機能再編成マスタープラン」が公表されています。

#### <ポイント>

まず、当圏域の自治体病院機能再編成は何のために行うのか、何をめざす取り組みなのかまとめて見ました。

##### ①医療機能の高度化によりサービスの充実を図ります。

現在、五所川原市立西北中央病院が圏域の高度医療を担っていますが、医師不足や施設の老朽化など、思うような医療機能の高度化が図れないことから、圏域の医療提供サービスを充実するために新たに中核病院の整備が必要です。

##### ②医師不足は圏域共通の課題です。

医師不足は西北中央病院だけでなく、全ての自治体病院に共通の課題です。現在のように、少数の医師が同じような規模や機能の病院に分散して配置されている状況は、医師にとっては診療への不安、多忙、ひいては勤務条件への不満などを招きかねず、結果的に病院勤務からの離職を促し、ひいては地域医療の崩壊につながってしまいます。

##### ③医師不足の解消につながります。

地域医療の充実を図るためには、まず医師が働き甲斐をもって活躍してもらえる環境を整えることが必要です。そのために、中核病院を早期に整備しサテライト医療機関とのしっかりした連携システムを構築することが大事と考え、その手段として自治体病院機能再編成を進めているのです。

##### ④持続可能な医療サービスの提供体制を構築します。

病院経営の面で見ると、各病院とも少ない医師で赤字経営を続けています。各市町とも厳しい財政状況にもかかわらず一般会計からお金を出して支えています。これ以上今の体制で個々の自治体病院を運営していくのはきわめて厳しい状況です。

自治体病院機能再編成は、個々ばらばらに経営している自治体病院を、つがる西北五広域連合による一体運営体制のもとで経営し、医療機能の分担と連携をとりながら、圏域全体で医療サービスを提供していく体制を構築する取り組みです。

##### ⑤各医療機関の適切な役割分担が求められます。

その際、高度救急医療を含む急性期医療は主に中核病院が担い、急性期後の回復期や慢性期の医療は、周辺のサテライト医療機関が担うような体制が考えられます。

#### マスタープランの概要（平成18年2月策定）

##### ○中核病院の医療機能と規模

###### 医療機能について

- 1) 圏域の高度救急と急性期医療を担う中核病院を目指す。
- 2) 診療科

内科（基本的に臓器別）、外科（基本的に臓器別）、心臓血管外科あるいは循環器科、小児科、精神科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科等

###### 規模について

- 1) 492床で計画（一般438床（救急10床含む）、精神50床、感染症4床）
- 2) 外来患者は1日当たり1,100人程度を想定。

###### 職員の配置見込み



540名(うち医師55名 - 充足率100%)

建設費の概算額

1)事業費総額は約199億円と試算(用地費を含まず。)

内訳 建設関係約156億円(設計、本体建設工事、外構、造成、医師住宅)  
設備関係等約43億円(医療機器、情報システム等)

2)企業償還費(全額を企業債でまかなった場合の単年度償還額)

償還のピークは開院5年目で約16億円、それ以降は平年ペースで約8億4千万円と試算しています。(用地費を10億円と仮定した試算)

### ○サテライト医療機関について

中核病院と連携して、急性期治療後の地域医療を担っていくことなど基本的な役割を総括的に整理しており、具体的な規模や機能については今後段階的に検討していくこととしています。

### 中核病院の建設用地の選定

中核病院の建設用地の選定は大きな課題でしたが、選定に当たり広く意見を求めるために平成18年3月30日に、2市4町の助役をはじめ、自治体病院関係者、弘前大学医学部、地元医師会、住民代表等の参加により、中核病院建設用地選定委員会(委員長:五所川原市雨森助役(当時))を発足しました。

同委員会では現地調査も含め4回の会議で検討を重ね平成18年7月24日、五所川原市2ヶ所、つがる市1ヶ所の計3ヶ所を候補地とする検討結果をつがる西北五広域連合長(五所川原市長 平山誠敏)に答申しました。

この答申を受け、2市4町首長による正副広域連合長会議を8月以降3回開催し、去る11月2日の会議において建設用地が決定したところです。

#### <決定した建設地>

「青森テクノポリスハイテク工業団地漆川」内の1区画(住所:五所川原市大字金山字亀甲120-1他)、面積7.8ヘクタール

### これからの進め方

中核病院の負担割合

中核病院の建設や運営について、2市4町でどのように負担しあうのかを決めていく時期になっており、現在最終的な調整に入っています。

いずれにしても、圏域住民みんなのための病院となることが前提で、負担金の多い、少ないはありますが2市4町が一体となって支えていくことが大事です。

中核病院の設計業者の選定

建設用地の決定を受け、設計プロポーザルにより、18年度内に基本設計を委託する業者の選定手続きを進めています。

中核病院は、平成19年度と20年度に設計、21年度から23年度までを建設期間とし、23年度中の開院を目指しています。

プロポーザルとは、設計業者の選定に当たり、競争入札のように単に設計料の金額によるのではなく、設計者の技術力、取り組みの体制、創造力、経験などを厳格な審査のもとで総合的に判断する選定方式です。

サテライト医療機関の検討

サテライト医療機関については、中核病院の開院に合わせて機能転換を行うことを基本としています。

これまでの検討経緯や今回決定した中核病院の建設場所を踏まえ、具体的な医療機能と規模について、地域の医療需要、医師確保の見通し、医療制度の動向などを勘案し、中核病院の整備と並行して検討していくこととしています。

### 最後に

新たに整備する中核病院は圏域の住民の皆様の命と健康を守る大事な共有財産です。これからの事業の推進に当たり皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

問合せ先 つがる西北五広域連合分室

tel・fax 0173-68-0318

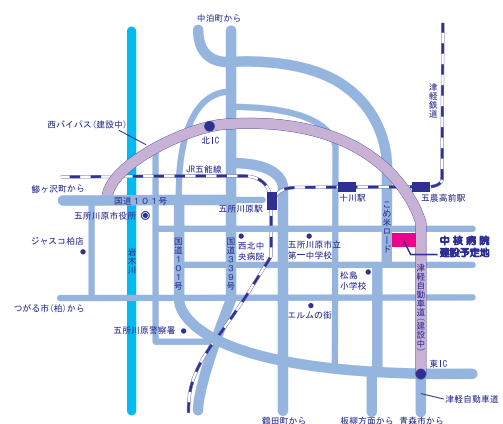
〒037-0053 五所川原市字布屋町41

五所川原市立高等看護学院内3階

「自治体病院機能再編成マスタープラン」は

つがる西北五広域連合のホームページ

(<http://www.aoi-mori.net/~tsugaru/>) でご覧になれます。



## 「東北地区国立大学法人等職員採用試験概要説明会及び大学等業務説明会」の開催について

- 日時** 平成19年2月15日(木) 14:00~15:30
- 場所** 弘前大学文京町地区 総合教育棟401講義室
- 内容**
1. 事務系及び技術系職員の採用試験の概要説明
  2. 大学等の業務概要説明
  3. 職員の体験談等
- その他**
1. 参加予約は不要です。
  2. 公共交通機関をご利用ください。
  3. 雪の影響等により交通機関の乱れが予想される場合は、開催を延期または中止することがあります。

### 問い合わせ先

東北地区  
国立大学法人等職員採用試験事務局  
(東北大学内)

電話 022 - 217 - 5676  
弘前大学総務部人事課人事グループ  
〒036 - 8560 弘前市文京町1番地  
電話 0172 - 39 - 3019または  
0172 - 39 - 3020

## 津軽鉄道サポーターズクラブ設立1周年記念フォーラム「津鉄を元気に! 地域を元気に!」

- 日時** 平成19年2月24日(土) 13:00~15:30
- 会場** エルム文化センター・パーティールーム
- 参加費** 無料
- 内容** 基調講演  
パネルディスカッション
- 主催** 津軽鉄道サポーターズクラブ
- 後援** 青森県、五所川原市、中泊町、津軽鉄道(株)

## ～五所川原県税事務所から～

### 県税の口座振替をご利用ください

県では、個人事業税、法人県民税・事業税及び自動車税の口座振替の申込みを受け付けています。県税の納税は、便利で安全・確実な口座振替をご利用ください。

### 県税・市町村税ホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/zeimu/>

### 問合せ先 五所川原県税事務所総務課

☎0173 - 34 - 2111 内線205

## 郵便局からのお知らせ

日頃、郵便局をご利用いただきありがとうございます。

日本郵政公社の民営化・公社化に伴いまして、平成19年3月5日から、次のとおり配達を担当郵便局を変更しますのでお知らせいたします。

### 1 配達を担当郵便局が変更になります。

現在、小泊郵便局で担当しております中泊町小泊地区の、郵便の配達、貯金保険の集金等は、市浦郵便局で行います。

なお、小泊郵便局は、窓口業務のみを取り扱う郵便局となります。

### 【中泊町小泊地区における担当郵便局】

現在	3月5日(月)から	備考
小泊郵便局	市浦郵便局	小泊郵便局は、窓口業務のみを取り扱う郵便局となります。

### 2 その他

- (1) 郵便番号は現在と変わりません。
- (2) 郵便物の配達、ポストの取集や集荷は市浦郵便局で行います。
- (3) 配達回数は変わりません。

なお、配達する順路が変更になりますので、早くなる地域も遅くなる地域もありますが、日単位で遅くなる地域はありません。

- (4) ポストの取集回数や時刻については、若干変更になる場合があります。

### お問い合わせ先

小泊郵便局 64-3060  
市浦郵便局 62-3060

## 税務署からのお知らせ

### ご利用ください! 便利なe-Tax!

国税電子申告・納税システム(e-Tax)を使えば、税務署に行かずに、自宅や事務所からインターネットを通じて申告・納税等の手続きができます。

e-Taxホームページ

<http://www.e-tax.nta.go.jp>

